

富良野看護専門学校 広報誌

看 心 ふ ら の 第 4 号

発行日 平成22年11月5日

発行者 富良野看護専門学校

○ 努力の成果を生かそう・・・目標に向かって意志高く！

看護専門学校の履修は想像以上に厳しく、4年制大学のように1,2年次は一般教養が主で「1年目はゆっくり学園生活を楽しむ」との余裕はなく、本校では専門科目の講義に加え「臨地実習」が2~3年次と増加、特に3年次は5月の連休明けから12月までほぼ全日、そして新年2月には国家試験。「自分は絶対看護師になる！」との確固たる進路意識と強じんな心身が必須です。本年度、本校は7月9日の「旭川地区看護学校体育大会」は当番校の重責を果たした上見事総合優勝。また8月21日は「第17回学校祭」で、本校教育の紹介や看護体験、縁日やバザー、お茶会等を地域と共に活発に展開。両行事共2年生の委員が主体となって円滑に運営し大きな成果を収めました。

看護師には「確かな看護技術と豊かな心」が求められます。本校学生は、看護の専門性に加え、幅広い社会性を身に付けるなど目標に向かって日々真剣に全力投球しています。晴れて全員が看護師として自己実現することを願っています。(学校長 丸 昇)

『富良野演劇工場「帰国」を鑑賞して』・・・7/15(木)第1学年全員が当工場の厚意もあり鑑賞しました。感想文の一部抜粋(趣旨を生かし校正)を連載で紹介します。

(略)まず、英霊達が60年余りの時を超えて現代の日本に帰ってくるというストーリーに、倉本聰さんはすごいなと感じました。戦争時代と現代の日本人の両方の時代背景が描かれ、人々の生活や物事の考え方(価値観)は時の流れで大きく変わったのだと思いました。・・・現代の日本は生活は自由で豊かになっていく一方、人間関係が希薄になっているのはとても悲しいと思います。命について(尊厳死)人と人との結びつきなど、普段の生活ではあまり考えることのない、思うことが沢山ありました。役者の皆さんが輝いているなど感じ、演技にも感動しました。(略) 1年 大野珠姫

(略)施設見学で舞台裏側を見せて頂き、奥行きがあって立体感が出るのお話が実際観客席での鑑賞でひしひしと感じ予想以上の臨場感に驚きました。・・・劇中の「便利とは人間がサボることである。」というセリフがとても印象的で、「現代の人間は体を動かし汗をかくことを嫌っている」のセリフもあり、その通りだと思いました。・・・現代の日本は色々なことが便利になっていますが、昔と違い人間の心までもが変化していると感じ、果たして平和な世の中になったのかと考えさせられた作品でした。素晴らしい作品を見て倉本聰さんと握手もでき本当に良い機会でした。(略)1年 安井 彩

・・・ **SCHEDULE** ・・・ 10/20～11/26 行事・動向(含予定)

10/22(金)富良野高等学校進路ガイダンス出席(学校長・事務課長)(了)

10/26(火)富良野東中学校訪問(14:00～学校長・教務・事務課長)(了)

11/1(月)避難訓練(16:30～)(了)

11/4(木)富良野看護専門学校推薦入学出願受付開始(～11/10)

11/9(火)～11(木)市議会決算審査特別委員会(学校長、事務・教務課長)

11/16(金)富良野看護専門学校推薦入学試験

11/26(金)平成22年度(第100回)看護師国家試験願書受付開始

耳よりヘルシー HEALTHY トピックス

果物のすすめ・・・「1日200g摂取が理想」 (月刊又康ダイジェストより抜粋)

果物には豊富な栄養素が含まれており、2005年度に厚生労働省と農林水産省が作成した「食事バランスガイド」でも毎日適量食べることを勧めており、目安を1日200gとしている。ところが、2008年の国民健康・栄養調査によると平均摂取量は116.8gと少ない。200gというとブドウ1房、リンゴ1個、柿2個に相当する。年中季節のおいしい果物を食べることは理想的。でも昨今の厳しい経済情勢では、果物を含め、安価で栄養豊富な食事内容には大いに工夫が必要。(大阪読売9/3)

+++ あ・ん・て・な ANTENNA +++

「多くの高校生が看護職に進路の関心！」～富良野高等学校の進路ガイダンス

10月22日(金)に富良野高等学校の「進路ガイダンス」に本校が参加し、道内を中心とする36の大学、専門学校と共に専用のブースを設置いただき、事務課長(学校長も出席)から、看護師を目指す本校への進学に関心のある多くの高校生(合計約30名)に本校教育の考え方や教育活動の実際等を説明しました。1回目は第1学年、2回目は第2学年の生徒が対象でしたが、予想を上回る多くの生徒が来訪し、用意した資料が不足して追加するなど嬉しい悲鳴でした。一層需要と重要性の高まる医療、看護の世界に自己の進路を求めようとする高校生に大いに期待してエールを送ります。

ささやき S & T ・・・ 学生の、教員の、みんなの声

S: 入学して6ヶ月。初めての実習、スポーツ交流会、夏休み、学校祭・・・あっという間に1年の半分が過ぎてしまいました。今は11月の実習に向けて必死で技術練習に取り組んでいます。焦りや不安はありますが、患者様によりよい医療を提供できるよう、技術習得にはげんでいきたいと思います。(入学後の感想1年根本千奈未)

S: 注射の演習が始まりました。「看護師っぽいなぁ」と思う反面、生徒同士で腕を貸し借りし合い、人の腕に針を刺したりするのは、ドキドキで緊張します。(看護技術の演習に学んで2年)